

熱海梅園内

中山晋平記念館



大正・昭和を彩った 中山メロデイリーの数々に出逢う。



から夢へ



中山晋平は、明治20年3月22日、現在の長野県中野市に生まれました。苦勞の末高等小学校を卒業した彼は、上京し早大教授であり、新劇指導者であった島村抱月のもとで書生生活を始めました。その後、彼は抱月が旗上げた「芸術座」の劇中歌「カチューシャの唄」を作曲、大ヒットし、作曲家として華々しいデビューを飾ります。自由な発想から生まれる彼の曲は人々の心をとらえ、「船頭小唄」、「東京行進曲」など次々にヒット曲を生み出しました。また、「てるてる坊主」、「証城寺の狸囃子」、「肩たたき」など、彼が作曲した数えきれない程の童謡は、今もなお人々の心に生き続け愛されています。